

# S・M・C

Shizuoka Medical Communication

## 薬学部 OSCE 開始

### 薬学共用試験が開始！薬学部にて SMC が模擬患者として協力

治療の薬を安心、信頼して受けられるよう薬剤師による説明を良好なコミュニケーションのもとで行なうことが必要です。そのため、薬学部で今年度より OSCE が導入されることになりました。

平成 12 年度から医科大学生への OSCE に標準模擬患者として参加し 10 年が経過しました。開始された当初は模擬患者としての統一性の基準作りに大変な練習を重ねてきました。

薬学部での OSCE 導入は、まだ始まったばかりで、シナリオの不備もあり模擬患者としての返答の仕方に不十分な点や、



改良すべき点もまだまだあります。担当指導教官とともに協議を重ね、共用試験でのより正確な判断材料として活躍できるような標準模擬患者の育成に努めていく所存です。それが、将来薬剤師として患者の前に立つ学生のコミュニケーションの向上に役立ち、患者の病識や治療の理解につながると考えるからです。（森田 みつ子）

薬学教育が 6 年制になったことに伴い、平成 21 年度から OSCE が実施されることになりました。静岡県立大学薬学部では 12 月 22 日(火)に初めての OSCE を薬学部 4 年生の学生を対象に行いました。

OSCE の中で「患者・来局者への対応」および「情報の提供」という医療コミュニケーションに関連

する課題について模擬患者の皆様にご協力頂きました。これらの課題は、実務事前実習や OSCE の中でも大変重要と考えております。当日の試験では、学生の中には非常に緊張した者もおりましたが、学生全員がストレートで合格することが出来ました。これも模擬患者さん方の良くとレーニングされ、かつ適切な対応のおかげもあったかと思えます。試験では模擬患者さんからのフィードバックを行って頂くことはできませんが、このフィードバックこそが学生に対する良い教育となります。今後、実務事前実習への関与など、より一層のご協力を頂ければ大変幸いと存じます。

静岡県立大学薬学部教授 並木徳之

初めての模擬患者として OSCE に参加しまして緊張しました。しかし、この機会を与えてくださった皆様に感謝しています。それは、同じ内容でも、言われる相手によって、患者の感じ方が異なることを体験できたからです。

OSCE では、被験者の必須質問事項も模擬患者の返答も決まっています。それでも、各被験者の対応によって、私の中に様々な感情が生まれました。よい関係作りがよい面談に繋がり、最終的によい治療に繋がるのだと改めて感じた体験でした。

(野崎 真奈美)



平成21年度の講演会は10月31日アイセル21にて、静岡県立総合病院副院長の森 典子先生にお願いして『あなたの血管大丈夫？』のテーマで開催しました。『あなたの血管大丈夫？』という演題名にご高齢の方が特に関心を示して下さり、多くの出席をいただきました。皆さん非常に熱心に聞かれていました。

パワーポイントで絵や図を用いての講演はとても分かり易かったです。内容は老化、老化といってもみてくれの老化ではなく、血管の老化すなわち動

脈硬化と内臓脂肪の話は専門的な内容を織り交ぜて、生活習慣が大いにかかわってくるということをお話していただきました。

私も話を聞きながら「皮下脂肪と内臓脂肪の両方でまずいなー」、「今必要カロリーはこれだけでいいんだけどなー」などかなり講演の内容に引き込まれて、より具体的に勉強できました。軽妙にして分かりやすく、ためになった講演でした。

( 関 薫 )

### 【アンケート結果】

研修会参加者は30名と若干少なめで約90%が女性。年齢は60歳以上の方に多数参加されました。

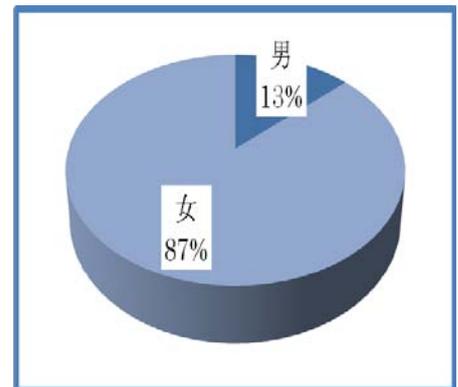
研修会の「お知らせ方法」は多くの方が新聞をみて参加していただきました。しかし、もっと多くの方に参加していただくためには、お知らせの方法を工夫することが今後の課題となりました。

研修内容は、「老化は血管から」と先生より判り易く説明していただきました。参加者の方から「血液については耳にすることが多いのですが血管についてはわからない事が多かったので、参考になりました。」とのご意見もあり違った視点からのお話で新鮮にうけとめられたのではないかと思います。

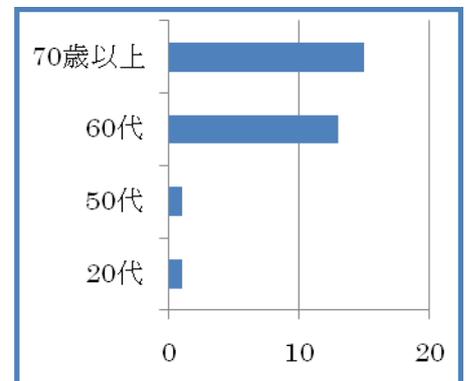
また、「講師の先生には専門用語もなくわかりやすい言葉で説明していただき、笑いもあり楽しくお話をきくことができました」とご意見をいただき、約9割の方が理解できたと好回答をいただきました。

しかし、私たち SMC についての知名度は低く、約9割の方々が「知らなかった」との回答でした。医療の場での良好なコミュニケーションを目指し活動を行っている SMC として今回のような広報活動を行うことにより医療コミュニケーションの研究活動の存在や『模擬患者』としての役割の認知度もあげていきたいと思えます。今回参加していただいた皆様からは貴重なご意見をいただきましたので今後の会の運営に生かしていきたいと思えます。講演会内容のご希望としては、不眠、循環器関係(高血圧、低血圧)、糖尿病や各種の癌、骨、認知症、うつ病、寝たきり、アルツハイマー、静脈瘤のこと、元気で年を重ねるには等々のご希望がありました。今後もより多くの方々に良好な医療サービスを受けていただくため講演会等を開催していきたいと思えます。

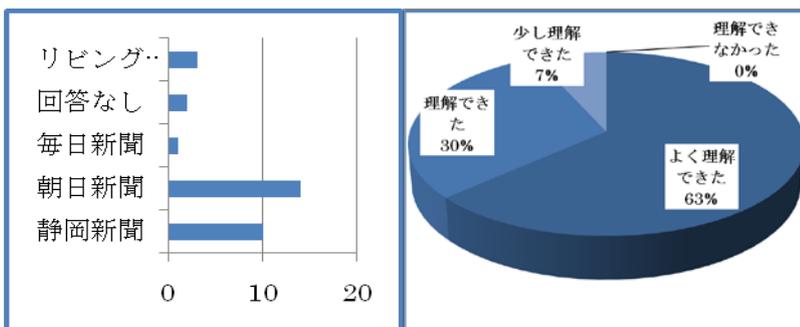
(小澤久代)



【参加者の性別】

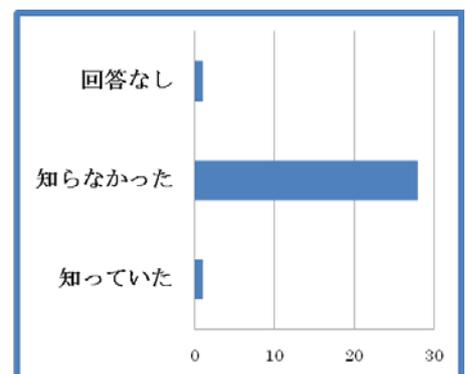


【参加者の年齢】



【講演は何で知りましたか?】

【講演の内容は理解できましたか?】



【SMCを知っていましたか?】

## 静岡市主催医療安全のためのコミュニケーション研修会

静岡市保健所主催の“医療安全のためのコミュニケーション研修会”が昨年に引き続き平成 21 年度も行なわれ、私たちは模擬患者や会の進行役をお手伝いしました。医療安全への関心は高く、多くの病院からの希望がありましたが、一年目は静岡県立こども病院、静岡済生会病院、静岡市立静岡病院、溝口病院で行われました。

この研修会を通して、個別に研修会を希望される病院もあり、コミュニケーション研修の重要性を理解して頂いたものと、私たちは嬉しく思っています。



今年度は三施設で行いましたのでその状況を紹介します。静岡県立こども病院では、10月 30 日に研修会を行い、60 名の職員が参加しました。『医事会計でのクレーム対応』と『白血病の再発』というバッドニュースを伝える場面を取り上げました。クレーム対応にはいろいろな意見が出されましたが、私たちにとっても新たなテーマであり、今後更に勉強していこうと考えています。



再発の告知は見ている私もつらく感じましたが、告知後の看護師さんの言葉かけが心に沁み込みました。

(鈴木崇代)

保健所の依頼でコミュニケーションの研修会に白萩病院に伺いました。こちらでの研修会ではあらかじめ病院担当者と研修目的の打ち合わせを十分行うとともにオリエンテーションも細やかに行うことの必要性を感じました。今回の研修会では医療コミュニケーションの目的と病院の職員が求めていることに相違があったと感じています。そのため研修会終了後、参加者は不消化な思いを抱いていたように思います。

今後は患者とのセッションで何を学びたいのか事前打ち合わせを十分に行い、医療者の皆さんが納得できる研修会を開催していきたいと思えます。

(山田峰子)

2009 年10月1日、神経医療センター研修会に SP として参加いたしました。

設定は、10歳の女兒入院患者の母親役です。けいれんを起こした朝に、いつも通り学校に行くようにという主治医の指示を看護師が伝えにきました。しかし、母親としては「行かせたくない」という場面でした。

“母親としての思い”“看護師としての立場”、お互いに言葉という媒体を通して意志の疎通を円滑にするのは難しく、コミュニケーションが人間関係においていかに大切であるのかを再認識いたしました。

(扇 みよ子)

## 平成21年度 SMC の活動

月 日	活 動 内 容
平成21年4月16・17日	CRC 研修会へSP 派遣（北里研究所）
5月17日	平成21年度 SMC 総会（中央福祉センター）
6月20日	コミュニケーション研修会へ講師派遣（ペガサート）
7月4・5日	「LPC 国際フォーラム 2009」参加（東京 聖路加国際病院）
8月1日	CRC 研修会へSP 派遣（東京 臨床試験受託協会）
8月8日	SSI コミュニケーション研修会講師・SP 派遣（東京サトヘルソートインスティテュート）
8月29日	癌医療とQOLを考える会へSP 派遣（静岡市）
8月30日	新人薬剤師研修会へSP 派遣（静岡県薬剤師会館）
8月12・13日	第8回CRCと臨床試験のあり方を考える会議 発表及び参加（横浜）
9月26日	CRC 特論へ講師・SP 派遣（静岡県立大学）
9月29日	看護職員の多重業務研修へSP 派遣（静岡県立総合病院）
10月18日	SMC 研修会（中央福祉センター）
10月30日	コミュニケーション研修会へ講師・SP 派遣（静岡県立こども病院）
10月31日	講演会「あなたの血管大丈夫？」主催（アイセル21）
11月14日	MEDC 医学教育セミナーへ参加（札幌医科大学）
11月20日	コミュニケーション研修会へ講師・SP 派遣（白萩病院）
11月28・29日	SMC 創立10周年記念旅行
12月1日	コミュニケーション研修会へ講師・SP 派遣（神経医療センター）
12月3・4・5日	第29回日本臨床薬理学会 発表及び参加（東京）
12月22日	OSCEへSP 派遣（静岡県立大学薬学部）
平成22年1月19日	SP 研修会へ講師・SP 派遣（大阪大谷大学 薬学部）
1月27日	第3回模擬患者学研究大会へ参加（東京）
2月6日	OSCE 研修会へSP 派遣（民医連）
2月20日	新人看護師研修会へSP 派遣（富士宮市立病院）
2月23日	医療コミュニケーション研修会へ講師・SP 派遣（済生会病院）
2月27日	OSCEへSP 派遣（浜松医科大学）
3月26日	学生への医療コミュニケーション研修会へ講師・SP 派遣（三島共立病院）
毎月1回	SMC 定例会開催（中央福祉センター）

### 連絡先

静岡医療コミュニケーション研究会

代表 森田 みつ子

〒420-0882 静岡市葵区安東 1-22-25

TEL・FAX 054-248-0348

E-mail [mrtmtk2000@hotmail.com](mailto:mrtmtk2000@hotmail.com)

HP <http://www.smc-jp.com/>